



「ながめ」 ～令和4年度幕開け！～

4月5日に始業式、11日に入学式を行い道川分教室の令和4年度が幕を開けました。生徒は、中学部1年生のAさん、高等部3年生のB・C・Dさんの4名、教職員は、人事異動により新たにE・F先生を迎え入れた5名で、計9名の所帯でのスタートです。

この時期特有かつ大切なこととして、生徒と教師の関係づくりがあります。とりわけ、担任が替わったB・Cさんにとっては、大きな環境の変化となるため、新たな関係性を築いていく必要があります。

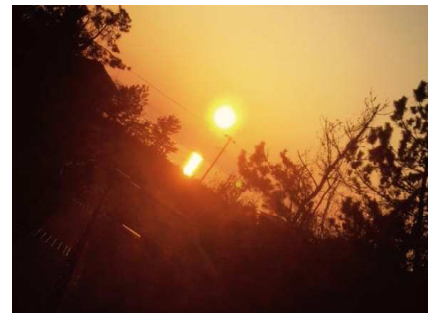
でもそれは、少し時間がかかるけれど、コミュニケーションや人間関係の拡がり、という視点で考えれば、楽しい営みでもあります。

「どんな歌が好きかな」と問いかけながら一緒に歌い、「何が見えるかな」と生徒と同じ目線で自然を見たり、耳を澄ましてみたり・・・

興味・関心や快適な体験を共有しながら「分かり合う」プロセスは、新鮮で新たな学びの意欲をかき立ててくれるように思います。

豊かな教育活動を実践するにあたり、先（将来等）を見据えて学習活動を計画することが必要です。一方で、先につながる今この時の一瞬一瞬の充実を、いかにして共に積み重ねていくか、という至極当然な日々の経過の大切さを、関係づくりの営みは教えてくれます。

小さな学校（分教室）ですが、生徒が感じ、見えているであろう日々の風景を共にながめ、一日一日を大切にしながら大きな笑顔あふれる1年にしたいと思っています。



【4月の ながめ】

*本ホームページ内「トピック（令和4年度入学式）」や「分教室通信No.1」も併せてご覧いただければ幸いです。